

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	加島小学校
学校長名	城 堀 雅 一

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・加島小学校では、第6学年 65 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科・算数科ともに平均正答率は全国平均を下回っていた。しかしながら、対全国比は国語科で0.84、算数科で0.90であり、昨年度（国語0.76、算数0.69）より改善が見られた。また平均無回答率では、国語科4.7、算数科4.5と全国平均よりも高くなっていたが、全国との差を見ると、昨年の国語+1.0が+0.5に、算数+3.4が+1.1にいずれも改善した。しかしながら、四分位層の区分Ⅳ「学力に課題の見られる児童の割合」は、国語科で35.4%（大阪市27.2%、大阪府27.3% 全国24.6%）算数科で28.8%（大阪市21.8%、大阪府21.0%、全国20.0%）と大阪府・全国に比べて非常に多くなっている。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕知識及び技能では、(1)言葉の特徴や使い方に関する事項の正答率が54.2%と低く大阪市全体と同様の傾向が見られた。また、思考力、判断力、表現力等をみると、A「話すこと・聞くこと」の平均正答率で大阪市平均や全国平均から10ポイント以上の差がついており、資料等から必要な情報を読み取り、自分の考えが伝わるように工夫したり、まとめたりすることに課題が見られた。一方で(2)情報の扱い方に関する事項や(3)我が国の言語文化に関する事項の正答率は7割を超えており、成果が見られた。

〔算数〕領域別に正答率をみると、大阪市や全国と同様に、C「変化と関係」で最も正答率が低く、「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題」で課題が見られた。また、D「データの活用」の正答率では、大阪市平均や全国平均から10ポイント以上の差がついており、必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題があることが分かった。しかしながらB「図形」の「直方体の見取図について理解し、かくことができるかどうかをみる問題」では81.8%と非常に高い正答率が見られた。

質問調査より

「自分には、良いところがあると思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童は55.6%で全国平均43.4%を大きく上回っていた。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的回答をした児童は9割を超えていた。さらに、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人いつでも相談できますか」の質問でも肯定的回答は75%を超え、大阪府の平均や全国平均を上回っていた。一方で、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」の質問に「全くしない」と回答した児童は4割を超えており、家庭学習ができていない児童が非常に多いことが分かった。教科に関しては、「英語の勉強は好きですか」「英語の授業の内容はよく分かりますか」の質問で肯定的回答をした児童が、大阪市平均や全国平均を上回っていた。

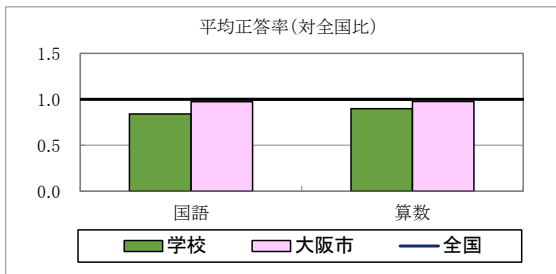
今後の取組(アクションプラン)

国語・算数ともに学力に課題の見られる児童の割合が多いことから、学力の底上げを図るため、昨年度から月1回「学力の時間（さみどりタイム）」を設けている。漢字学習や計算学習を中心に自分に合った課題を進め、スモールステップで達成感を味わえるような学習を続けている。また、2年生以上の全ての学年で「漢検」を受験するとともに、漢字力が定着するようなプリント学習を今後も進めていく。研究教科である国語科では、今年度も「読むこと」を通して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていききたい。高学年においては、子ども新聞を活用して要約の家庭学習に取り組むなど、総合的読解力の育成にも力を入れていく。また、放課後補習充実事業等も活用して子どもたちに学習習慣を身につけさせるとともに、読書環境なども一層整えていきたい。

【 全体の概要 】

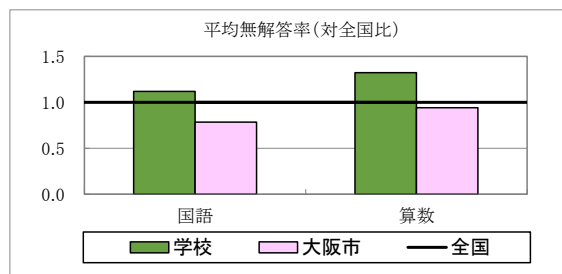
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	57	57
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4



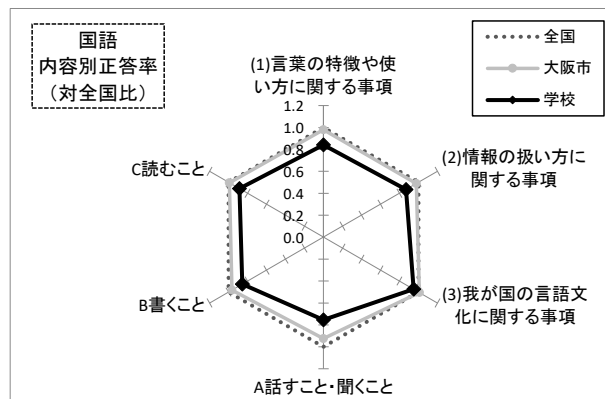
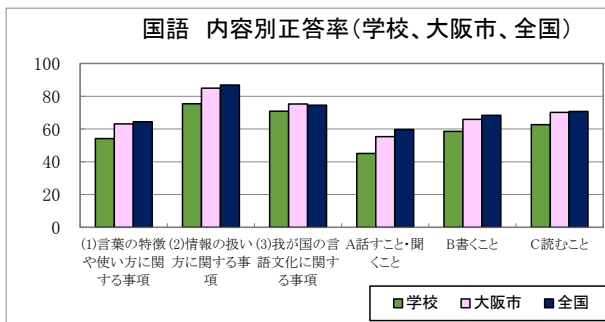
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	4.7	4.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



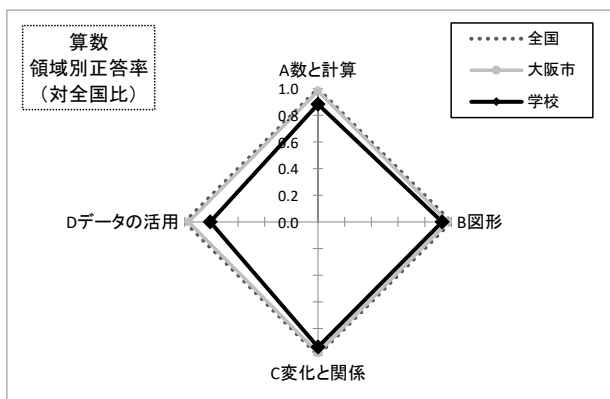
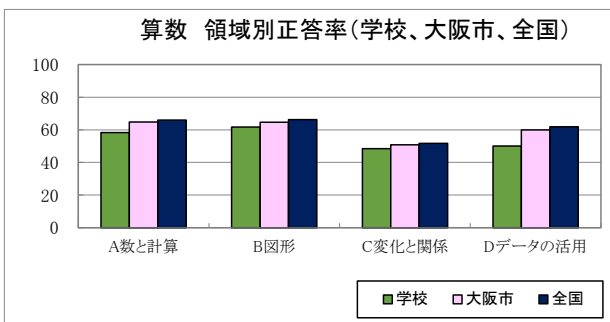
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	4	54.2	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	75.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	70.8	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	45.1	55.3	59.8
B 書くこと	2	58.5	65.9	68.4
C 読むこと	3	62.6	70.1	70.7



【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	58.3	64.8	66.0
B 図形	4	61.7	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	48.5	50.8	51.7
D データの活用	4	50.0	60.0	61.8



児童質問より

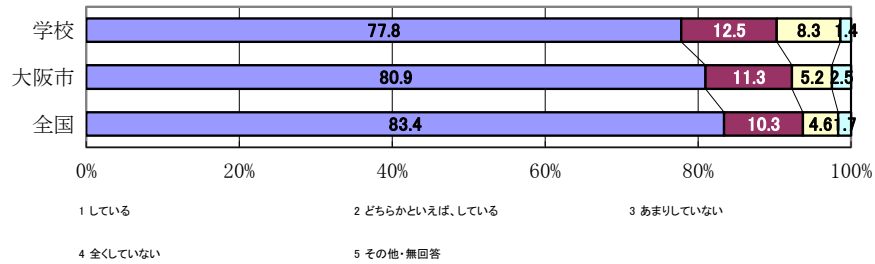
質問番号

質問事項

1

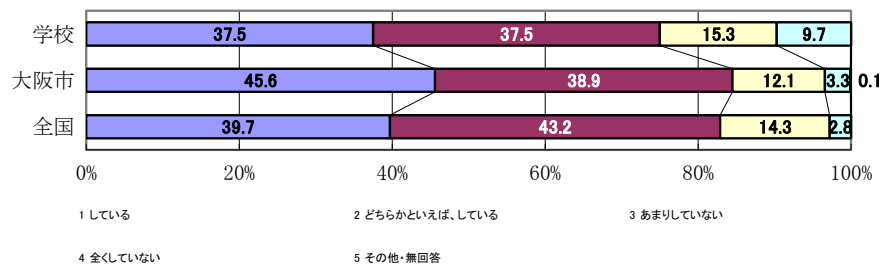
朝食を毎日食べていますか

1 2 3 4 5 6 7 8



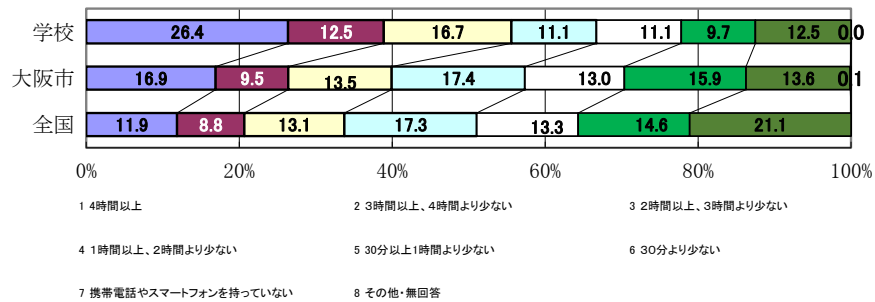
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



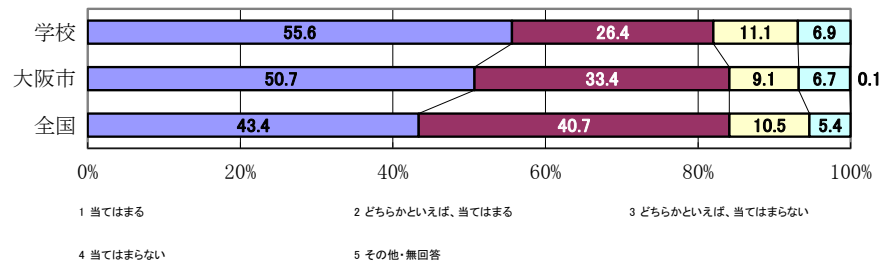
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



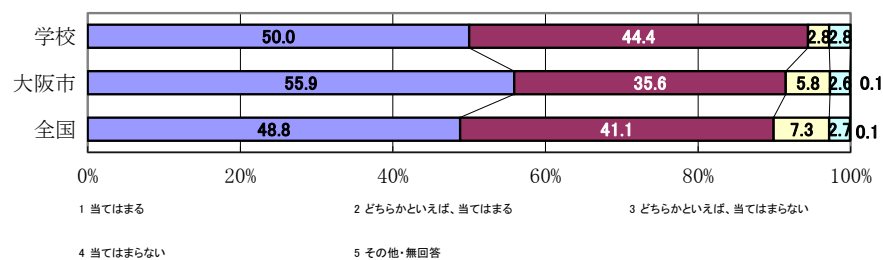
9

自分には、よいところがあると思いますか



10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



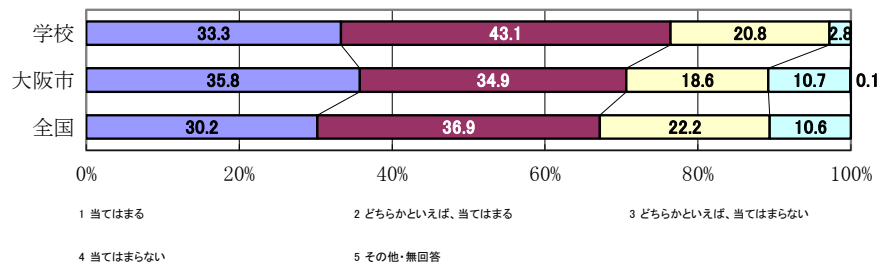
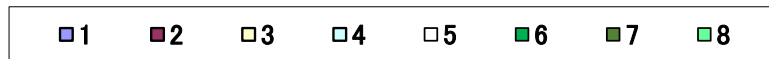
児童質問より

質問番号

質問事項

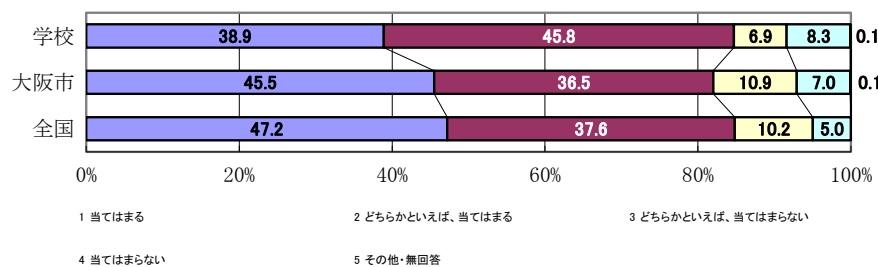
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



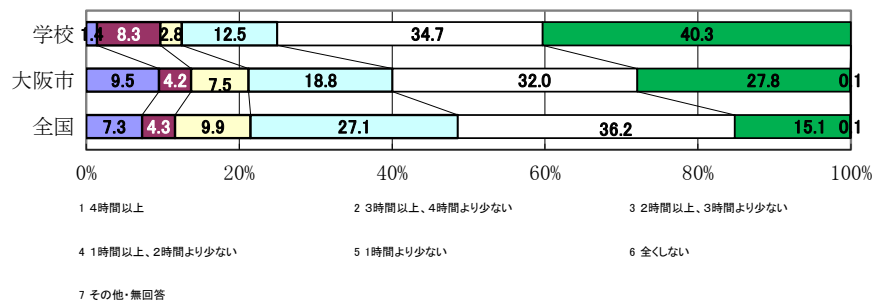
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



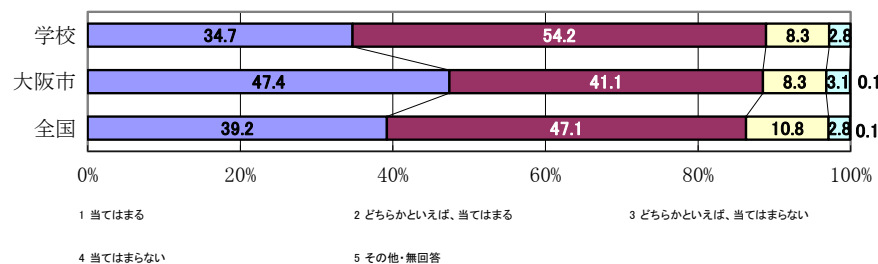
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



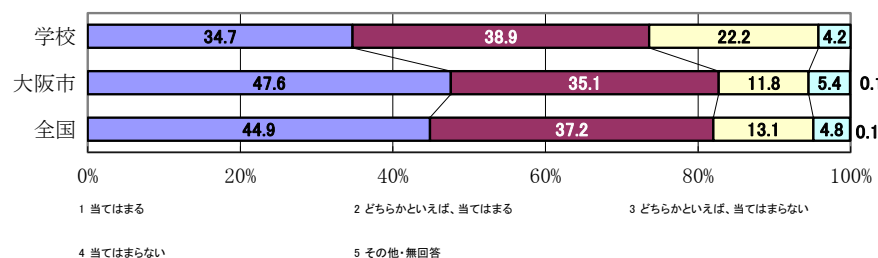
44

国語の授業の内容はよく分かりますか



52

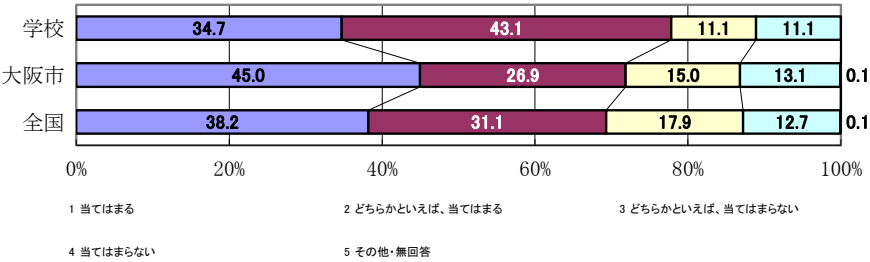
算数の授業の内容はよく分かりますか



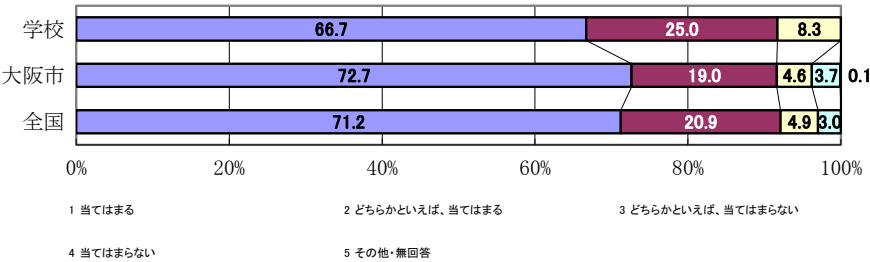
児童質問より

質問番号
質問事項

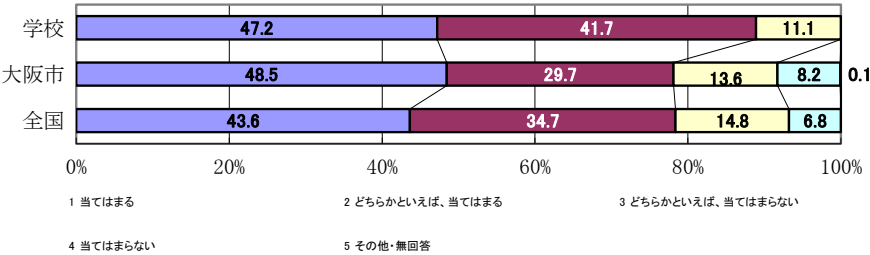
61
英語の勉強は好きですか

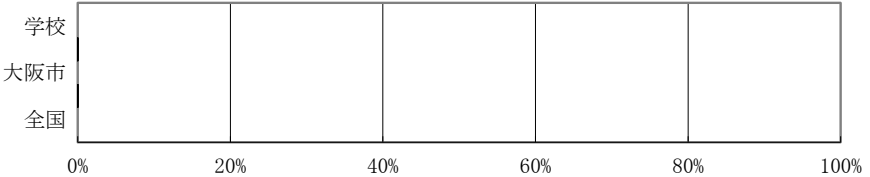


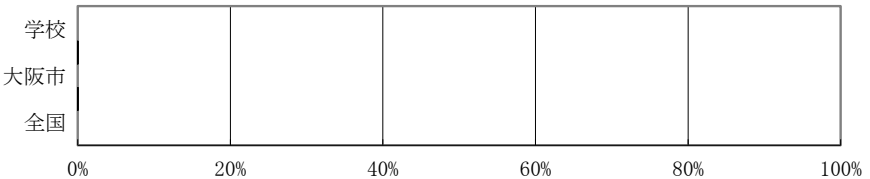
62
英語の勉強は大切だと思いますか



63
英語の授業の内容はよく分かりますか







学校質問より

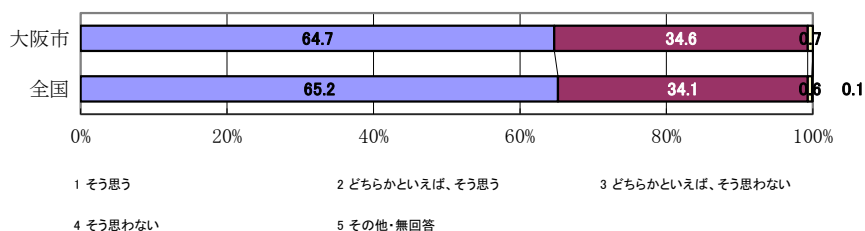
質問番号

質問事項

20

学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか

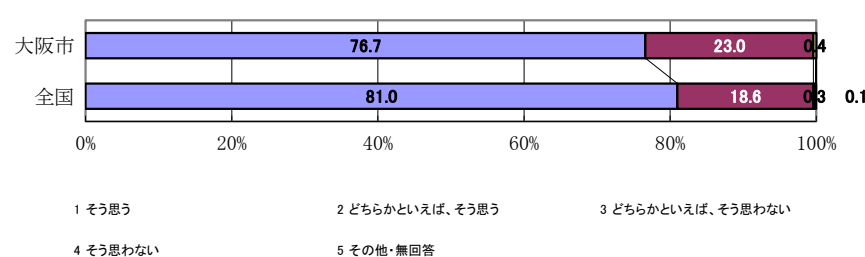
学校 「そう思う」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

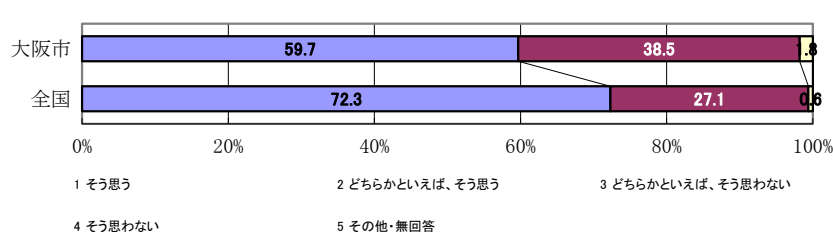
学校 「そう思う」を選択



23

教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思いますか

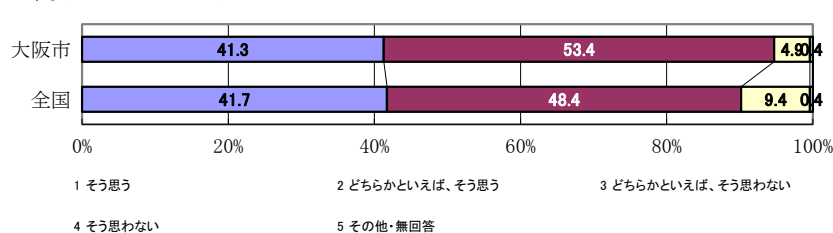
学校 「そう思う」を選択



24

ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



62

前年度に、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか

学校 「実施しなかった」を選択

